



東京蜘蛛談話会 2025 年度合宿のご案内

2025 年度の合宿は、以下の予定で実施いたします。

1. 期日：2025 年 8 月 8 日（金）から 10 日（日）
2. 場所：群馬県長野原町・東吾妻町（ハッ場ダム代替地・吾妻溪谷）周辺
3. 宿舎：川中温泉かど半旅館
〒377-0814 群馬県吾妻郡東吾妻町大字松谷 2432
TEL 0279-67-3314
4. 費用：1 人あたり 2 泊 2 食つき＋レンタカー代＋ガソリン代で 3.5 万円ほど。
昼食、現地までの交通費と夜の飲み代は自己負担。
5. 集合・解散：正午前後に JR 吾妻線長野原草津口駅（特急と高速バスがあります）
6. 担当・申込先：新津 紅（あらつべに）
mail: beni1971geo@gmail.com

参加ご希望の方は、6 月 29 日までにメールでお知らせください。

※担当が運転免許を持っていない為、お車の方がいらしてくださいと大変助かります。

東京蜘蛛談話会 2025 年度採集観察会

1. 期 日：第 1 回 2025 年 6 月 8 日（日）第 2 回 2025 年 11 月 9 日（日）
2. 場 所：東京農業大学厚木キャンパス
3. 集 合：9:30 小田急線本厚木駅南口改札
（南口 14 番乗り場より神奈川中央交通バスで移動します）
4. 世話人：初芝伸吾
5. 連絡先：初芝携帯 090-6156-8378.

KISHIDAIA 原稿投稿先：

鈴木佑弥 〒770-8070 徳島市八万町向寺山（番地なし）徳島県立博物館

E-mail : sasaganiya1206@gmail.com

キシダイアの原稿締め切りは、6 月末、12 月末を目安とし、予算枠内のページ数まで先着順といたします。

東京蜘蛛談話会総会例会

2025 年 4 月 27 日 東京環境工科専門学校にて



参加者一同

(1) クモの網にく
つついたカビの胞子
を見てみよう

安富将吾



(2) イソウロウグモ
類の風変わり「でな
い」採餌行動 (2) クモ
食い

新海 明



(3) タカシマトゲツ
チカニムシの正体

佐藤英文



(4) クモの背後に忍
び寄る妖しの影

平松毅久



(5) ミャンマー・ヌ
エサン地域における
クモ類調査の報告十
クモのカタログの歴
史

小野展嗣



(6) タナグモ科、コ
タナグモ科の今年の
記載種と今後の課題

奥村賢一



(7) 日本産カラカラ
グモ科全種の系統関
係の推定

鈴木佑弥



(8) トリノフンダマ
シ類の系統解析

谷川明男



事務局交代のお知らせと、メールアドレス登録のお願い

初芝さんから引き継ぎまして、今年度から事務局となりました興石です。どうぞ
よろしくお願いします。新しい事務局の住所等は以下の通りです。

事務局：興石紗葉子

住所：〒215-0004 神奈川県川崎市万福寺 1-2-2 新百合 21 ビル
アジア航測株式会社 環境部

メールアドレス：tokyo.spider.study.group.1966@gmail.com

メールアドレスをお持ちの方は、登録をお願いします。主に例会の講演依頼やプロ
グラムの事前配布をメールで行いたいと思います。

上記アドレスに次の内容をお送りください。

①名前（フリガナ）

②メールアドレス

配信不能なアドレスが多くなっていることから前任者の初芝さんからアドレスの引
き継ぎはしませんので、メールでの連絡をご希望の方は皆さんあらためて事務局ま
でご連絡ください。

なお、通信や会誌のメール配布は行いません。これまで通り紙媒体で届きます。

※事務局からのメールが迷惑メールに入ってしまう場合があります。特に hotmail
をご利用の方はご注意ください。

※終日圏外にいて返信が遅い場合があります。

次回の例会は 2025 年 12 月 7 日の予定です

通信原稿投稿先：

谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail：dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

通信の原稿締め切りは、4 月末、8 月末、12 月末です。

2024 年度決算

東京蜘蛛談話会

収入の部

2025 年 4 月 1 日

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	783,000	
内訳 a.24 年度会費	358,000	欄外 1
b.25 年度以降前納会費	375,000	
c.23 年度以前未納分会費	50,000	
2.寄付	6000	唐沢良子さん
3.雑収入	0	
4.別刷り代	0	
5.利息	67	
6.クモ基本 60 売上	0	
収入合計	789,067	
7.繰越金		
(1)22 年度以前 前納会費	299,000	
内訳 a.24 年度分	261,000	
b.25 年度分	34,000	
c.26 年度分	4,000	
(2)特別会計（プール金）	595,204	
繰越金合計	894,204	
合計	1,683,271	

支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	582,022	125,126 号
2.会誌発送	57,580	
3.別刷り作成・発送	0	
4.談話会通信	109,348	170,171,172 号
5.事務局等通信費	90,850	欄外 2
6.事務用品等	0	
8.予備費	0	
支出合計	839,800	
9.繰越金		
(1)25 年度以降の前納会費	413,000	
内訳 a.25 年度分	356,000	
b.26 年度分	29,000	
c.27～33 年度分	28,000	
(2)特別会計（プール金）	430,471	
繰越金合計	843,471	
合計	1,683,271	

繰越金の預け先：郵便貯金（普通）	¥202,530
振替口座	¥583,308
現金	¥57,633
合計	¥843,471

欄外 1：24 年度会費は、前納分 261,000 円とあわせて 619,000 円受領しました。

欄外 2：観察会アナウンス用はがき代 12,600 円を含みます。

以上、報告いたします。2025 年 4 月 1 日 会計 須黒達巳 印

適切に会計処理されています。2025 年 4 月 20 日 会計監査 奥石紗葉子 印

2025 年度予算

東京蜘蛛談話会
2025 年 4 月 27 日

収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 25 年度会費	871,000	4,000 円*202 人+1,000 円*63 人
内訳 a.前納分	356,000	
b.25 年度納入予定分	515,000	
2.寄付	0	
3.雑収入	0	
4.別刷り代	50,000	
5.利息	3	
収入合計	921,003	
6.繰越金		
(1)26 年度以降の前納会費	57,000	
内訳 a.26 年度分	29,000	
b.27～33 年度分	28,000	
(2)特別会計（プール金）	430,471	
繰越金合計	487,471	
合計	1,408,474	

支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1.会誌作成	600,000	300,000 円×2 回（127,128 号）
2.会誌発送	60,000	
3.別刷り作成・発送	50,000	
4.談話会通信	120,000	40,000 円×3 回(173,174,175 号)
5.事務費・通信費	45,000	欄外 1
6.事務用品等	10,000	
7.総会・例会	20,000	10,000 円×2 回
9.予備費	10,000	
支出合計	915,000	
10.繰越金		
(1)26 年度以降の前納会費	57,000	
内訳 a.26 年度分	29,000	
b.27～33 年度分	28,000	
(2)特別会計（プール金）	436,474	
繰越金合計	493,474	
合計	1,408,474	

欄外 1：事務局・会計・編集各 5,000 円，通信 6,500 円，観察会・合宿事前調査費各 10,000 円，
通信費・振込手数料等 3,500 円

2024 年度会員動向

2024 年 4 月 1 日時点の会員数 259 名

入会 16 名，退会 10 名

2025 年 4 月 1 日現在の会員数 265 名（一般 202 名，学生 63 名）

御殿谷川(八王子城址)の溪流から ③ナルコグモ

新海 明

今でこそ、大層有名になったナルコグモだが、その昔 1980 年以前には「クロヤマジグモ」と呼ばれていた。口伝である。溪流のそばでしばしば採集され、特段に珍しいクモではなかった。

問題は「その網」の存在だった。クロヤマジグモと呼ばれていたのだから、ヤマジグモのような立体的な円網を張っているのではないかと予想されたが、クロヤマジグモの本体の周りには、そのような網を思わせる糸はいつ見ても無かった。

1983 年のことだ。私は兄と二人で、ここ御殿谷川に来ていた。私の目的はヨリメグモの網構造を調べることであった。兄は「クロヤマジグモの網を探す」だ。さすが…である。そして、兄はその日、クロヤマジグモの網を見つけてしまった。その瞬間の光景は今でもはっきりと覚えている。私はヨリメグモの網を記録している最中だった。すると突然「明、ちょっとこっちに来てみな」と呼びかけられた。そばにいくと「クロヤマジグモの網があった」という。私は川の上にいるクロヤマジグモの存在は見出したが、網は見えなかった。怪訝な表情を見せた私に一言「クモの下だ」「水面との間をよく見ろ」。水面とクモの間にたしかに、糸が垂直に延びていた。さらに、少し頭を上にして水面に入る光、直射日光ではなく、明るく映る空を写すと…、そこに一列に並んだ点が水面にはっきりと見えた。クモの周りの水面をよく見れば、一列の点の連なりは一か所だけではなく、クモを中心に三列四列と放射状に広がっているのが分かった。

「クロヤマジグモは水面との間に鳴子状の網を張っていたんだ」と、その場で言ったかどうかまでは覚えていないが「鳴子」についての説明をされた記憶がかすかにある。「クロヤマジグモ」転じて「ナルコグモ」の網は、その奇妙さゆえに、この年に別府で開催されたクモ学会大会で兄が報告して大きな反響があった。



この時、私の関心はヨリメグモの網であったが、ナルコグモの網にも一気に惹きつけられた。「こんな網型は世界でも初めての発見ではないか」と思ったからだ。それからというもの八王子城址の溪流に通いつめ、ヨリメグモとナルコグモの網構造や造網行動を夢中になって記録した。

場所は異なるが、私の中心となるもう一つのフィールドである千葉県房総丘陵にある清澄山で毎月一回行われていたゼミで、このナルコグモの網について報告したことがあった。これがさらなる情報の拡大につながったのだ。昨今のようにパソコンで検索すれば海外の文献を瞬時にたどれる時代ではなかった。清澄のゼミを聞いていた加藤輝代子さんから貴重なコピーが送られてきたのだ。著者はコーディントンとバレリオ（1980）さんらで中南米の *Wendilgarda* というクモの張る網が、私たちが報告したナルコグモの網にそっくりだという。兄にも見せたところ「これだ」という。

残念ながら世界初の記録とはならなかったが、のちにクモの分類学で著名となったコーディントンさんの存在を知ったのはこの時であった。エバーハードさんといい、コーディントンさんといい、私ごときが比較すべきもないが「クモ網の調査」は奇しくも著名なクモ研究者との出会いを招いてくれたのだった。

ゆるクモイラスト

天 木 詩 織



5月、ネコハエトリの季節。

よく晴れた日中に公園を散策すると、葉っぱや手すりの上で日差しを浴びながら丸くなっているネコハエトリを見かけます。良いなあ、気持ち良さそう。



アカイトトリノフンダマシ♀
静止ポーズ

昨年の5月18日にあった片倉城跡公園の観察会で撮影した写真で、サカグチトリノフンダマシ（仲條さん撮影）と、そっくりなテントウムシ（興石撮影）です。

興石紗葉子



入退会は：

事務局 興石紗葉子 〒215-0004 神奈川県川崎市万福寺 1-2-2

新百合 21 ビル アジア航測株式会社 環境部

E-mail : tokyo.spider.study.group.1966@gmail.com

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 4000 円、学生 1000 円です。

（しばらくの間会費を値下げしておりましたが、2022 年度より元の水準に戻し、一般 4000 円、学生 1000 円といたしました。）

会費は郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

会費・住所変更は：会計担当 須黒達巳

〒150-0013 渋谷区恵比寿 2-35-1 慶應義塾幼稚舎

TEL : 080-5683-2765 E-mail: t.s.schlegelii@gmail.com